

岩手県立遠野緑峰高等学校 三つの方針（スクール・ポリシー）

1 学校教育目標

- 1 未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間を育てます。
- 2 農業・商業に係わる幅広い産業に対応した実践力を育てます。
- 3 郷土・地域社会に貢献する積極的な態度と実践力を育てます。

2 三つの方針（スクール・ポリシー）

	スクール・ポリシー
グラデュエーション・ポリシー (このような力を伸ばします)	本校が育成を目指す資質・能力は次の通りです。 ・自己肯定感の育成 体験的学びを積み重ね、成功体験を通した自信から、失敗に挫けない力 ・社会人基礎力の育成 前に踏み出す力：主体性、実行力 考え抜く力：計画力、想像力 チームで働く力：傾聴力、状況把握力、発信力 ・総合生活力と人生設計力の育成 総合生活力：基礎学力、豊かな心、健やかな体 人生設計力：将来を見通す力、労働力 ・共生社会の理解 人それぞれの違いを自然に受け入れ、支えあい、互いに認めあう力
	【生産技術科】 ・農業・家庭の学習を通して、自ら課題を見つけ解決できる能力と実践力の育成 〈生産科学コース〉 ・栽培・飼育・経営の基礎的・基本的知識の習得を通じて、生命を大切にする心を育成 〈生活文化コース〉 ・食物・被服・保育の基礎的・基本的知識の習得を通じて、生活の充実向上を図る生活技術力を育成 【情報処理科】 ・商業の基礎的・基本的知識の習得を通じて、経済のグローバル化、ICTの進歩に対応する力を育成

カリキュラム・ポリシー (このような学びを行います)	本校は地域と連携した、体験的、経験的な学びに取り組みます。 【生産技術科】 ・ 農家研修を行い、地域農業への理解を促進し、就農に対する学びを深めます。 ・ 地域の農業資源を活用した特色あるプロジェクト学習に取り組みます。 (1) 草花研究班 (2) 農産加工研究班 (3) 畜産研究班 (4) 野菜・果樹研究班 (5) 生活文化研究班 【情報処理科】 ・ 生産技術科が生産した農産物の販売促進に取り組みます。 ・ 地域の事業者の協力をいただき、商品開発に取り組みます。 ・ 地域ショッピングセンター等の協力をいただき、販売実習に取り組みます。 ・ 将来の進路を見通した、職業資格取得に取り組みます。
アドミッション・ポリシー (このような生徒を待っています)	本校の特色を理解して、積極的に高校生活を送る生徒を求めます。 ・ 礼儀正しく、明るく、心のこもった挨拶が出来る生徒 ・ 郷土・地域を愛し、地域社会に貢献しようとする生徒 ・ 何事にも失敗を恐れず目標に向かって挑戦する生徒 ・ 農業・家庭・商業に係わる知識や実践力を身につけたい生徒

3 連携先（魅力化協働パートナーの分類に○を付ける。複数可。）

	魅力化協働パートナー（団体名・個人名）	地域 * 1	大学 * 2	産業 * 3	その他	学校運営 協議会委員* 4
1	遠野市長 多田 一彦 様	○				
2	遠野市教育委員会事務局 教育部長 新田 正宏 様	○				○
3	遠野市立遠野東中学校 校長 上舘 敦彦 様	○				○
4	遠野市立土淵小学校 校長 高久 和則 様	○				○
5	遠野農業志向青年教育推進委員会 会長 菊池 忠信 様	○				○
6	PTA 会長 阿部 一也 様	○				○
7	株式会社遠野テレビ 代表取締役専務 佐々木 浩章 様			○		
8	一般社団法人遠野青年会議所 理事長 畠山 賢一 様	○				○
9	株式会社遠野ふるさと商社 代表取締役社長 鈴木 英呂 様			○		○
10	株式会社ワイ・デーケー 工場長代理 八幡 豊 様			○		○
11	農事組合法人宮守川上流生産組合 代表理事組合長 桶田 陽子 様			○		
12	有限会社多田自然農場 代表取締役社長 多田 克彦 様			○		
13	まつだ松林堂 松田 恵一 様			○		
14	松崎地区地域教育協議会 会長 多田 宜史 様	○				
15	ホップ和紙の会 代表 安部 純平 様	○				

* 1 地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人

* 2 大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人

* 3 企業、産業技術研究機関、産業振興に取り組む機関・団体及び個人

* 4 学校運営協議会委員に委嘱されている場合に○をつける。

4 特色ある教育課程（探究）

具体的な 内 容	【地域との協働による「拓心」プロジェクト】 ・地域資源を活用し、地域と連携した教育活動を推進し、その成果を地域に還元する。 ・遠野ゼミナール（地域を知り、課題を見つけ、自己の専門性につなげ解決法等を探究する） 〔LHR、各教科〕 1 学年 地域について深く学び、地域の課題やこれからの地域づくりについて考えます。 〔課題研究、総合的な探究の時間、各教科〕 2 学年 各教科の専門性や見方・考え方をはたらかせ、地域課題解決の方法を研究します。 3 学年 地域課題解決の成果の発信と地域貢献を実践し、自己の進路と将来へ活かします。 〔農商連携活動〕 ・ポップ和紙を使った卒業証書制作 ・生産物等の海外輸出プロジェクト 【農業クラブ】 ・地域資源を活用したプロジェクト学習 ・農家研修 ・郷土料理学習 ・そば打ち体験学習 【商業クラブ】 ・地元事業者と連携した商品開発プロジェクト ・地元ショッピングセンター等での販売実習 ・生産技術科の生産した農産物の販売促進 ・先進的 ICT 技術の体験や学習
---------------------	--

5 選択的導入の検討状況

令和2年度から、遠野市と連携して県外受け入れを実施している。
